# 片桐英数塾通信

河合サテライトネットワーク校
全統模試実施校
坂本教室 OFFICE
TEL 24-1337
FAX 82-6185
天神教室
TEL 23-1899
E-mail
info@katagirijuku.com

# 考え続ける力を鍛える

## できなくても考えた分だけかしこくなる！

時間が無い…。タイムリミットは容赦なく近づいてくる。「何でこんなにやることが集中してしまったんだ…」。吐き捨てるようにつぶやく。動悸が速くなる。それが一層焦らせる…。口の中がカラカラだ。もしタイムリミットに間に合わなかったとしたら…。そんなこと考えただけでも気絶してしまいそうだ。何とかしないと…、何とかしないと…。そう心でつぶやくばかりで、具体的な解決策も見極めることもできず、ただ時間が過ぎる…。図々しくも、普段は信じてもいない神様に、この時ばかりはお願いをする。

たぶん、将来、みんながみんなこんな経験をするとは限ら無いのでしょうが、これを見た大人の方々は、これに似た経験を一度や二度はしたことがあるのではないでしょうか。たぶん、みんなの中の多くの人が、これに似たことをいつかは経験していくことになると思います。

しかし、世の中は広いもので、私が自分の人生の中で見てきた中でも、こんな状況にも臆せず、確かに、慌てることもあるし、焦っていることもあるのですが、笑顔で楽しそうに乗り切っていく人がいました。彼らは、どこかが普通の人とは違っているように感じます。考え方が普通の人とは何か違う。目の付け所が違う。残念ながら、私にはその感覚が無いもので、彼らを見て、羨ましく思うこともあったり、どうしたらそのような思考をすることができるのかを考え込んでしまうこともありました。

彼らを分析する中で気付くのですが、彼らに共通して言えることは、「どんなことがあっても思考が止まらない」ということです。思考が止まらないから、どんどん考えが浮かんできます。考えが増えると、次に取る行動の選択肢も増えてきます。とは言え、思考を止めないって、これって、意外と難しいのですよ。どうして良いのか分からなくなると、たいがい思考は止まります。思考が止まるから途方に暮れてしまって、どうして良いのか分からなくなってしまうとも言えますが。

では、どうすれば彼らのように、思考を止めずに考え続けることができるのか？ これには本当に考え込みました。彼らには超能力のような不思議な力が備わっているのでは無いか、と考えたことすらありました。しかし、そんなはずはありません。結局、行きついた答えは、「彼らは考え続けるだけの鍛錬をしてきている」ということです。

考え続けるための鍛錬とは何か、と考えてみます。

今、みんなの取り組んでいる問題には必ず正解があります。正解が無ければ、自分の答えが正しいのか正しくないのかも分からないし、テストに点を付けるにもどうしても正解という基準が必要なのだから、やっぱり勉強する上で正解は必要です。正解があるということは、実はとてもありがたいことです。正解にたどり着ければマルで、たどり着けなければバツなのだから。だから、みんな、マルが欲しくて必死になって正解にたどり着こうとします。そして正解にたどり着けた時、心の底から安堵します。正解とは、勉強への動機付けでもあるし、能力の評価基準でもあるように思います。無意識のうちに、私たちの頭の中は正解に支配されています。

ところが、社会に出ると、正解の無い問題が大半です。これまで正解だけを求めていた人は、社会に出て正解の無い問題に遭遇すると、途端に青ざめます。思考が停止します。身動きが取れなくなります。実は、「正解のある問題しか解いていないのがいけないのではないか」という意見もあるくらいです。

私の考えで恐縮ではございますが、「考え続ける」能力を鍛えるには、正しいか正しくないかは分からなくても、普段から自分の頭で頭を捻って諦めずに考え続けることを習慣化することだと思います。間違えていてもかまわない。一度出した答えが、正しいかどうかは考えた後で自分が実際に行動してみてから気付けば良い。思考は完全に自由です。正解に束縛される必要はありません。自分が考えて出した答えが、言ってしまえば正解です。

考え続けるには、正解の束縛から脱却し、自分でいろいろ考えてみて、いろいろ試してみて、それから「あぁ、これが正解なのか」と、自分で一つ一つ悟っていく地道な鍛錬が必要です。この鍛錬が習慣化している人は、どんなに追い込まれようが、思考を止めず、次から次へと対策を考え、実行に移し、その難局を乗り切るだけの力を持ちます。私には、その力が、将来、塾生が自分の生きる道を切り拓いていくには、何よりも大切なことのように思えてなりません。

何だか宣伝のようになって恐縮なのですが、当塾では「パズル道場」なるものを、この四月から本格的に始めます。「パズル道場」という名前から、「あ、パズルで遊ぶだけなんやろ？」と考える方もいらっしゃるかと思いますが、世間一般の「パズル遊び」とは違うと思います。様々なタイプの問題を、自分の力で「あ～でもない、こ～でもない」といろいろと考えてみて、一つ一つ思考を進めていきます。そこには「間違えているから駄目だ！」も「正解したから君は立派だ！」というのもありません。ただ、自分で考え抜いた努力だけが全てなのです。

「パズル道場」の対象は小学生、中学生です。文字が読めて、じっと座れるなら幼稚園の子だって対象になります。この「パズル道場」の理念と、子供たちの未来を生き抜く力は、私の中では完全に合致しております。

厳しいことを書きますが、これまでは日本人であるということで国内の就職はある程度優遇されていたところがあったと思います。しかし、この激変する世界情勢を見ておりますと、そんな状態がいつまでも続くとは私には思えない。いつかは、今の中高生も、正解の無い世界の中で、自分の判断で自分の道を切り拓かなければならなくなります。これからの時代を生き抜くには、思考を止めず、考え抜く力が不可欠だと、私は思います。そのためには、今、自分を見失わず、思考を止めずに考え続ける鍛錬が必要です。できれば、少しでも早い年齢での鍛錬が必要だと思います。

「パズル道場」にご興味を持たれた方は、是非、私たちにご連絡下さい。一度体験して頂ければ、私どもがこの「パズル道場」に力を入れている理由が分かって頂けるかと思います。

子供たちの未来は、今、いかに思考を鍛錬するかにかかっています。

## 卒業おめでとう

**中3生、高3生の皆さん、卒業おめでとう！皆さんが、将来大きく羽ばたいて、社会で活躍することを切に願っています。片桐英数塾は、卒業後もずっと皆さんのことを応援しています。卒業生の皆さんへ、心をこめて、この言葉を贈ります。**

*Live as if you were to die tomorrow.*
*Learn as if you were to live forever.*

*明日死ぬかのように生きろ。永劫永らえるかのように学べ。-Mahatma Gandhi-*

すべての受験を終えた高３生の皆さんは、合格大学について坂本教室まで必ずお知らせください。体験談へのご協力もお願いします。また、卒業後も塾から近況を尋ねることがあると思いますので携帯アドレスを変更した時には塾まで連絡をくださいね。

**満開の桜が咲き誇る希望に満ちた春を迎えられますように…**

## 片桐英数塾からのお知らせ

**坂本教室の3月のお休みは、9日(日)，16日(日)，23日(日)，30日(日)です。**
**3月2日(日)は10時～15時まで自習室と教室を自習開放します。**

お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願いします。お迎えの際には、駐車場内での安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、ご近所出入口などでの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

HPｱﾄﾞﾚｽ http://www.katagirijuku.com ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ katagirijuku@docomo.ne.jp

## パズル道場 親子説明会＆体験会 開催！

**3月21日（金） 13：30～15：00**

対象：小学生・中学生と保護者の皆様　場所：片桐英数塾坂本教室
お友達、お知り合いの方もぜひご一緒にご参加ください。
ご予約・お問い合わせは　坂本教室まで！！

**体験会** 3月24日（月）・29日（土） 14：00～15：00

すべての日程に参加していただいてもかまいません。お待ちしています！

## 新年度新規塾生募集開始！

新中1生は 3月21日（金）正規授業スタート
新高1生は 3月25日（火）正規授業スタート

入学を前に、いち早く新学年の内容を学習していきます。
新入生のみなさん、春からの新生活をぜひ充実したものにしていきましょう。入塾についての詳しいことは、坂本教室までお問い合わせください。　TEL 24－1337